

### Vol.3

2023年  
10月20日発行  
WE LOVE TENNOJI-KU

## 大阪市の誤請求で...

## ある日突然、65万円の督促状が届く!?



# 督促状

料金後納郵便

重要

ある日突然、65万円の督促状が自宅に!

しかし、それは大阪市の過去の誤請求だった...

今年、このような驚きの出来事がありました。メディアでも大きく取り上げられたため、ご存知の方も多いのではないのでしょうか。自民党としても、私たち市民の生活に関わる大きな問題ととらえ、「自立支援給付等の利用者上限月額決定誤りと差額納付の督促」について、本議会(民生保健委員会)で取り上げましたのでご報告いたします。

※質疑は自民党の木下議員(阿倍野区9期)が行いました。



影響人数: 77人 (うち納付済み56人)  
総額: 6,883,738円

令和5年9月29日時点 ※大阪市の報告書類より

### 大阪市利用者負担額の誤りと納付督促について 大阪市長答弁あり

**事件概要**  
放課後デイサービス等利用者が払う月額が、システム上の設定に誤りがあり、本来の金額よりも少なく請求していたため、本来の金額との差額を利用者に請求した。しかしながら、利用者は金額改定時に、これまで支払っていた金額から大きく下がることから再三にわたって市に確認したが、間違いではないと返答を受けていた。そのような課程の中でミスが見つかり、差額を1ヶ月以内に支払いをするように、利用者へ一方的に通知をした。高い方は65万円にもなり、市民は大阪市の対応に不信感と怒りを覚えている。

令和5年9月21日(木) 質疑内容(要約)

**木下議員:** 市長から本問題に言及する様子をSNS等で確認した。是正対応を検討中とのことだが、本事件が起きてからすでに1ヶ月以上経ってなお対応プランが提示されていない。当事者の方々にも連絡がなく非常に不安に思われている。この点についてどう考えているのか?

**横山市長:** 本市のミスについては本当に申し訳なく思っている。福祉局に是正対応の検討指示をしてきた。検討内容についてはどのような経緯で発生したのか、しっかりと整理した上で市民に寄り添う決定をしていきたいが、内部検討、協議中のため現時点(9月21日)ではお答えすることはできない。

**木下議員:** 大阪市民に寄り添った対応をしてほしい。いきなり65万円もの大金が簡単に払えるわけではないし、利息を取るというのもおかしい。早急にプランを立て、市民へ真摯に説明し解決に向けて進んで頂きたい。

### 木下議員による委員会での追及後、対応方針が発表されました

9月29日、大阪市より「自立支援給付等の利用者負担額の決定誤りの対応について(報告)」という報告書が出され、本件における対応方針が発表されました。その内容を要約すると、以下のようなものでした。

- ① 今回の件は特殊な事情が重なって起きた
- ② 正しい上限額が分かっていたら使わなかった分はそれまでの利用実績を見て差額を減額する基準を設けた
- ③ 上記内容は既に納付済みの方にも行う
- ④ 未納の方には納付期限の延長、分割を認め、利息も取らない

という対応を行う、とのこと。



### 自民党会派としての須藤の見解

Shota Sudo



ミスが起こることは許されることではないが、人間である以上、仕方がない面がある。問題の本質は、ミス後の対応があまりにもずさんであること。自身のミスを棚に上げて一方的に納付書を送ることは言語道断。また、利用料金について確認を取ったときに間違いがないと答えているため、法的にはここで契約が成立していると考えられる。そのため払う義務自体も存在しない可能性がある。(500円でラーメンを頼んで、お会計時にやっぱり1,000円でしたは通らないように...) 公金を取り扱う以上は常に緊張感を持って取り組んでいただきたい。また、いきなり納付書が届いた市民の皆様は、さぞ不安になられたことでしょう。心中お察しします。私のX(Twitter)にもダイレクトメールをいただきました。市民が納得できるように真摯に対応し、同じ間違いが起きないように、再発防止とチェックを引き続き行っていきます。

### 自民党会派 質疑による成果

#### 当初の大阪市の対応

- 1カ月以内に差額を振り込み
- 分割延滞の場合は法定利息を加算

#### 委員会後(自民党会派質疑後)

- 過去の使用歴と照らし合わせ、請求額は適切に減額する
- 分割時に利息は取らない

市民の皆様の声が後押しとなり、行政を動かすことができました。ありがとうございます! 今後も市政でお困りの方はぜひ、市議員へご連絡ください!

あなたも天王寺活性化プロジェクトに  
参画しませんか? プロジェクトメンバー大募集中!

※デバイスによっては読み取れない場合があります



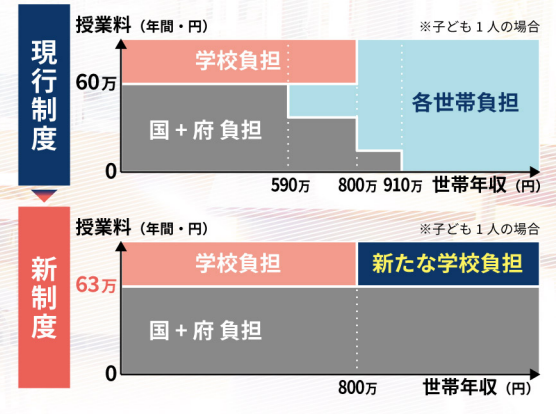
速報！ 市政コラム



私立高校の無償化施策が私学連合と大筋合意！

前号で取り上げた「私立高校の無償化施策」ですが、8月末に私学連合との修正案が合意されました。9月の府議会にて上程される予定です。あらためて、制度の説明ですが、2024年より段階的に大阪府内に住む私立高校生の授業料が完全に無償化される施策です。これまで、年収による上限がありましたが、本施策は完全に撤廃されます。

6月に発表された基本案では60万円の授業料キャップが設けられ、それを超える授業料は「学校側の負担」とされました。この基本案に私学連合や私学PTA連合は大反発。高校の経営に深刻なダメージを与えるだけでなく、教育の質の低下が懸念されていました。最終的には授業料の上限を60万円→63万円へ、経常費補助金を2万円増額する案で合意がなされました。つまり、基本案より5万円程度増額された格好です。



大阪府が目指す段階的な教育無償化イメージ (高校生の場合)

	2023年	2024年	2025年	2026年
高校3年生		無償	→	
高校2年生			無償	→
高校1年生				無償

※大阪府の資料に基づき作成

須藤しょうたの目線 教育レベルを維持したい

前号で私は3つの修正案予想をお伝えさせていただきました

- ① キャップの撤廃
- ② キャップ上限の増額 (70万円程度)
- ③ キャップを超えた分は保護者負担

今回は②のキャップ上限の増額が盛り込まれましたが、その額は実質5万円と想定よりも低い金額でした。授業料がコントロールされるのは私学の経営において非常に恐ろしいことであると同時に、そのキャップ金額によって教育の質に蓋がされてしまいます。現状は65万円という金額で着地をしましたが、物価上昇への対応や、各学校の特色が無くならないように、制度のブラッシュアップを私学連合やPTAとすり合わせ、定期的に行なっていただきたいと思います。

無償化で私学教育の質が下がらないように、制度の定期的な見直しが必要！

OSAKA, KANSAI, JAPAN 大阪万博開催へ向けて EXPO 2025

交通アクセス問題 → 大阪万博の開催期間中は谷町線が超絶ラッシュ!?

大阪万博の開催が1年半後と迫り、連日メディアで様々取り上げられています。建設の遅れは周知の通りですが、意外と知られていないのが、夢洲・咲洲へのアクセス問題です。夢洲・咲洲には橋が2本しか掛かっておらず、近隣の物流車両だけでも非常に混雑しています。また、中央線が延伸となり、万博会場への主要ルートとなる中央線ですが、万博期間中は大混雑が懸念されます。天王寺区内において

は谷町線と中央線が交わる谷町四丁目駅では、朝のラッシュ時に+1~2万人の乗車が想定され、今以上にパンパンな「超絶ラッシュ」となる可能性も...!?

地域の支えなくして大阪万博は開催できません。大阪市民の生活を最優先に考え、私たち市民一人ひとりが幸せになれる大阪万博となるよう、提言を進めます。



天王寺区民ニュース 配布方法変更のお知らせ

区民の皆様のお手元へ。より身近に！ 次号より「区内の全戸ポスティング」となります

※ポスティング不可の建物等には投函は行いませんので、あらかじめご了承くださいませ

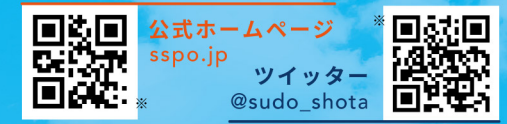
発刊は3ヶ月に1回 次号は2024年1月を予定しています

これからも、皆様の暮らしに関わる市政や区政の大切な情報をお届けしてまいりますので、今後ともご愛顧の程お願い申し上げます

発行者 大阪市議員 天王寺区選出



ホームページやSNSで最新情報発信中!



本紙に関するお問い合わせ先

須藤しょうた 市政事務所 〒543-0026 大阪市天王寺区東上町9-15 アバンテ東上町2F TEL 06-6710-4544 ※デバイスによっては読み取れない場合があります